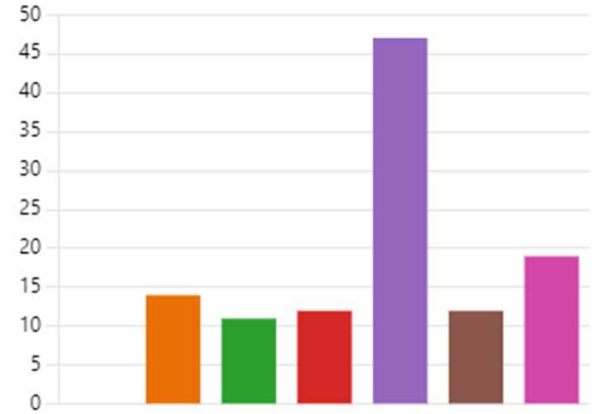


参加者の反応(第4回[11/24回開催]のアンケート結果より)

説明会参加人数 約225名※、アンケート回答数101件 (回答率44.8%) 12/1時点

○回答者 (複数回答あり)

- トラックドライバー 0
- トラック運送事業者 14
- トラック運送事業者 (元請事業者) 11
- 貨物利用運送事業者 12
- 発荷主事業者 47
- 着荷主事業者 12
- その他 19



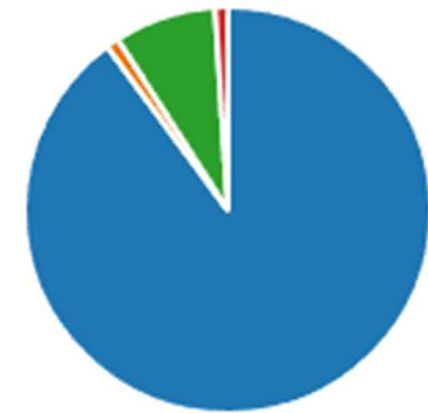
【その他】

○トラックメーカー、行政書士、倉庫業、協会、システム事業者、金融機関 等

※運輸局関係者除く

○活用度「今回の説明内容は今後業務に役立ちそうか？」

- 役に立つと思う 89
- 役に立つとは思えない 1
- 良くわからない 8
- その他 1

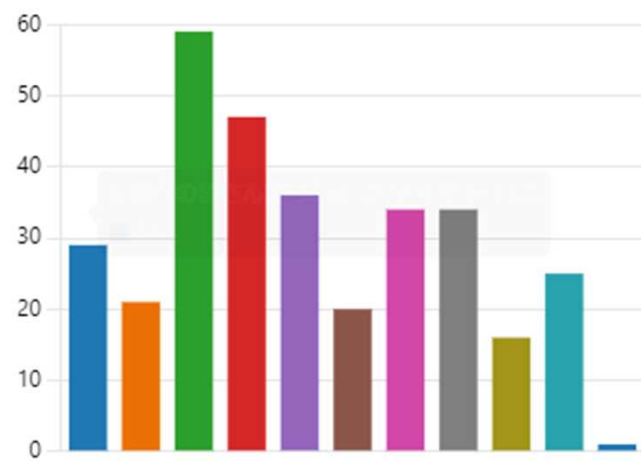


【その他】

○役立てたい (1件)

○興味深かったテーマ

- 参加者の皆さんから事前にいたい... 29
- 最近のトピック (プレス発表資料等) 21
- トラックGメンとは 59
- 違反原因行為について 47
- 働きかけについて 36
- プッシュ型情報収集について 20
- 標準的な運賃について 34
- 2024年問題の背景及びその対策... 34
- 講演①モーダルシフト (内航海運の... 16
- 講演②物流システムの活用 (併Ha... 25
- その他 1



【その他】 参加不能だった (1件)

具体的な感想

- 顧客に対する理解活動の武器として今回の資料を活用したい (トラック運送事業者)
- 知識が増えた。我が社に活用出来る業務改善が具体的にイメージ出来た (元請トラック運送事業者)
- 出荷主と運送業者との認識の違いが分かった。小売業として、消費者に対しても協力を促していかなければならないと思う (発荷主事業者)
- 本会議はドライバー目線での説明が多く参考となりました (発荷主事業者)
- 発荷・物流・着荷側 3社での取り組みを進めていく必要性があり 社内提言を進めるにあたって参考となった (着荷主事業者)